



移住者名	鈴木彩美
都道府県	愛媛県
移住先	東京⇒佐島
移住年	2017年
職業	雑貨店スタッフ→カフェ経営（起業）
家族構成	単身
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

瀬戸内への旅が好きだった私は、しまなみ海道からもほど近い佐島という小さな島に「古民家ゲストハウス汐見の家」が出来たことを知り、宿への宿泊をきっかけに2016年の夏に初めて佐島を訪れました。いつものように周りの島をいろいろ回ってみようと、最初はそのつもりで遊びに来ましたが、宿のみなでご飯を食べ、ご近所の方とあいさつを交わし、釣りに行ったり畑に行ったり、旅行というよりも暮らしているように過ごす毎日。それがあまりに楽しくて嬉しくて、もっとこの島にいたいと思ううちに、自然とここで暮らす自分を想像するようになりました。それからは秋冬と何度か通い、翌年の春には佐島へ引っ越し。待ち望んでいた島での生活がスタートしました。島の行事に参加し、島の季節を体で感じられることが、私は嬉しくてたまらないです。海も人も風もとても穏やかで心地よく、暮らせば暮らすほど佐島が好きになり、毎日わくわくして過ごしています。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

身内がいるわけでもなかった佐島ですが、初めて訪れた旅行の時から親身になって相談にのってくれた島の方や、移住者の先輩方や、移住がきっかけで仲良くなった仲間たちのおかげで、特に心配事もないまま引っ越してきました。仕事も周辺の島でいくつかアルバイトを掛け持ちし、島の方とお話ししたり、地元産業のお手伝いができることはとても嬉しいことでした。普段の生活も、庭の草刈りから家の修繕、畑の手入れや魚の捌き方まで、何もかもが初めてやる事ばかり。その度に周りの方や島の達人に教わり、たくさん助けて頂き、本当に感謝が尽きません。また、佐島は離島ですが30分ほど車を走らせれば本土にも行けるので、ほどよい便利さがよかったです。



## Q. 移住して良かったことは？

---

この穏やかな佐島でゆっくりのんびり過ごせる場所をつくりたいと思い、約60年ほど前に建てられた旧保育所をほぼ自分たちの手で改修し、今年の9月に「book cafe okappa」をオープンさせることが出来ました。改修に必要な古材や家具類、食器、様々なジャンルのたくさんの本も、どれも島の方がご厚意で譲って下さり、仲間たちや周りの本当にたくさんの方々のお力をお借りしてできた大切な空間です。カフェでは、佐島で農業を営む移住仲間の「あおき農園」から調達する毎朝採れたての無農薬野菜で作るランチや、佐島で採れた果物を漬け込んだ自家製シロップドリンクをご用意しています。ご近所さんやお友達を誘って来てくれたり、私たちとお喋りをしてくれたり、パソコンで仕事をする方、ゆっくり本を読む方、畳の部屋でぐるぐる過ごす子どもたち、地元の方も旅行の方も、みなさんが思い思いの時間を過ごしている姿を見られることが、今の私にとって何よりも喜びです。

## Q. 移住を考えている方へメッセージ

---

私は佐島が好きだから、佐島の方がたちが好きだから、どうしてもここに住みたいという純粋な気持ちだけで引っ越してきました。引っ越しを決めた当初は、仕事や家はどうするのか？と、私よりも周りの方が心配していましたが、ご縁が重なり、タイミングよくアルバイトも家も決まりました。しかし、実際に住み始めてからの方が仕事や空き家の情報は多く耳にします。何度か希望の場所に訪れ、住民の方々とコミュニケーションを取ることはとても大切ですが、そのあとは思い切って引っ越してしまうのも良いことだと思います。“移住”というと人生の大きな決断のように思えますが、その土地が好きで、そこで暮らしたいという気持ちがあれば、日々の生活がとても楽しく豊かに感じると思います。